□ 地域貢献情報

当ＪＡは、平成24年９月現在、京都市右京区（京北地域）、南丹市、京丹波町、亀岡市、福知山市（注1，2）、綾部市（注2）、舞鶴市（注2）、与謝野町、京丹後市、宮津市および伊根町を事業区域とし、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当ＪＡの資金は、その大半が組合員の皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉とし、資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにご利用いただいています。

また、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開し、ＪＡの総合事業を通じて各種金融機能・サービスを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献につとめています。

（注１）　ただし三和、夜久野地域を除く。
（注２）　ただし、福知山市の中六人部・下豊富・大江地域、綾部市および舞鶴市の区域については、旧綾部酪農農業協同組合の組合員、その家族および後継者に限るものとする。

（単位：人）

	平成24年９月末現在
組合員数	52,422
内、正組合員数	27,019
内、准組合員数	25,403

⑴　地域からの資金調達の状況

①　貯金・積金残高

組合員の皆さまはもとより地域の皆さま、地方公共団体、法人や地域団体のご利用によりお預かりしています。定期貯金をはじめ普通貯金、定期積金、総合口座など、目的や金額、預入期間にあわせてご利用いただいています。

（単位：百万円）

お預かり先	平成24年９月末残高
組合員	344,570
組合員外	82,590

②　貯金募集の状況

組合員とのふれあいを大切にし、全職員により貯蓄増強運動に取り組んでいます。

定期積金キャンペーンにより目的貯金、目標貯金のご提案をしています。

また、ボーナス時の定期貯金キャンペーン、年金受給者への特別金利定期貯金、ＡＴＭ定期貯金等をおすすめしています。

取り扱いの貯金商品については、信用事業の事業案内（５頁）をご覧下さい。

⑵　地域への資金供給の状況

①　貸出金残高

組合員をはじめ、地方公共団体、土地開発公社、地域団体、地域住民の皆さまの暮らしや農業の発展、地域経済の向上に寄与できる資金のご融資をしています。

（単位：百万円）

ご融資先	平成24年９月末残高
組合員	39,886
地方公共団体	9,417
その他	9,371

②　制度融資取扱いの状況

農業近代化資金など主に認定農業者の農業経営にご利用いただいています。

また、行政や各種団体と連携し農業集落排水事業や農業基盤整備事業にご利用いただいています。

その他 、日本政策金融公庫などの取り次ぎもしています。

③　融資商品

農業融資を基本としていますが、組合員の皆さまのニーズにあった各種ローンを取り揃え

ています。また、地域振興資金や共同利用設備資金など、地域団体にもご利用いただいています。

取り扱いの融資商品については、信用事業の事業案内（６頁）をご覧下さい。

⑶ 文化的・社会的貢献に関する事項

① 地域社会に貢献する活動

- 次世代を担う子供たちに農業やＪＡを知ってもらうため、ＪＡの子ども雑誌「ちゃぐりん」を活用した取り組みや食農教育の一環として「あぐりキッズスクール」を開催するなど、親子で集える催しを実施しています。
- ＪＡ京都杯小学生バレーボール大会を開催し、地域の小学生の親睦と交流につとめています。
- 全共連と共同して、児童・生徒の書写教育への貢献を目的として小・中学生を対象とした「書道コンクール」を、また、児童・生徒の図画工作・美術教育の高揚と交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として「交通安全ポスターコンクール」を、それぞれ開催しています。
- 学校などの要請に応え、体験学習の場を通じてＪＡや農業への理解を深める機会を設けるほか、地元の京野菜や農業について生徒に説明を行い、また、小学校へは農業にかかわる副読本「ぼくとわたしのまちの農業」を計画的に謹呈し授業に使用いただくなど学校教育に賛助しています。
- 日本赤十字社による献血運動への積極的な参加を役職員で行っています。

② 「ひとり暮らし高齢者等の見守り支援」の取り組み

京丹波町の依頼を受けて、ＪＡ職員が外務活動を通じて高齢者世帯への声かけを行い、異変を発見した時や相談を受けた場合は、町役場に連絡するという「ひとり暮らし高齢者等の見守り支援」を行っています。

③ 安心して暮らせる地域づくりのための取り組み

認知症の正しい知識を身に付け、適切な対応ができるよう「認知症サポーター」の養成研修を受けたキャラバン・メイトが中心となり、全役職員が認知症サポーターとして活動できる態勢づくりをすすめています。

④ 利用者ネットワーク化への取り組み

「ＪＡ女性部」を各地で結成し、幅広い年代層が参加できる研修や催しを開催するとともに、家庭菜園の普及拡大をはかり、安全・安心な食物により家族の健康を守る提案を行っています。

年金受給者による「年金友の会」を組織し、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、講演会、旅行などを通じて健康増進や各地域の会員相互間の親睦をはかっています。

⑤ 情報提供活動

ＪＡと組合員を結ぶパイプ役として、当ＪＡの活動を中心に営農や暮らしに役立つ情報を紹介した広報誌「ぱあとなぁ～」を毎月１回発行するとともに、地域住民に向けてタウン版「ぱあとなぁ～」を発行してＪＡの情報発信を行っています。

また、ホームページを開設して、インターネットにより情報発信しています。

ホームページアドレス　http://www.jakyoto.com

⑥ 店舗体制

北は京丹後市、南は亀岡市にわたる地域に29の為替店舗、58台のＡＴＭを設置し、地域の皆さまにご利用いただいています 。

また、府内５ＪＡ・99店舗により京都府内をカバーする最大級のネットワークです。

（平成24年10月１日現在）